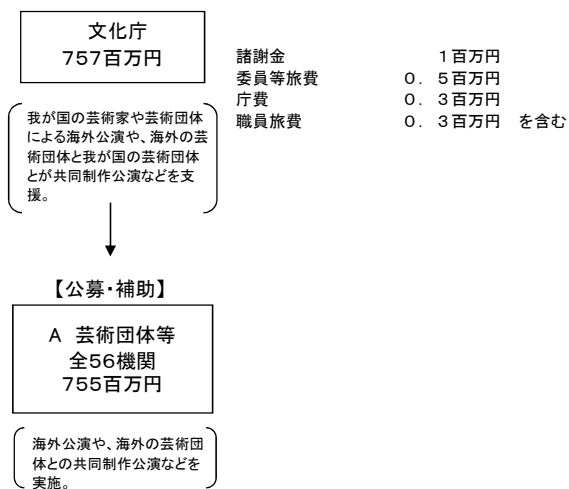


平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	芸術による国際交流活動への支援		担当部局庁	文化庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度～平成25年度		担当課室	文化庁芸術文化課 文化財部伝統文化課		芸術文化課長 舟橋 徹 伝統文化課長 平林 正吉		
会計区分	一般会計		政策・施策名	XⅢ 文化による心豊かな社会の実現 XⅢ-3 日本文化の発信及び国際文化交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第15条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海外の優れた芸術団体との共同制作公演や海外で開催される国際芸術祭等への参加を支援することにより、国際芸術交流を推進し、世界最高水準の芸術団体・芸術家の養成を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際芸術交流支援事業⇒上記の目的を達成するため、芸術団体が行う以下の公演に対し支援。〔補助率 対象経費の一部〕 ・我が国の芸術団体の海外フェスティバルへの参加 ・我が国の芸術団体と海外の芸術団体との舞台芸術の国際共同制作公演 ・我が国で行われる舞台芸術の国際フェスティバル							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	1,124	1,120	866	862	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	1,124	1,120	866	862	-	
	執行額	1,026	1,005	757				
	執行率(%)	91.4%	89.7%	87.5%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	芸術水準の向上を定量的に指標化することは非常に困難である。 【参考指標】国際芸術交流支援事業申請数		成果実績	件	123	140	130	
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	国際芸術交流支援事業支援数		活動実績 (当初見込み)	件	60	63	56	-
					( 60 )	( 51 )	( )	
単位当たりコスト	13.5(百万円/1件あたり)		算出根拠	平成24年度決算額 757百万円/平成24年度支援数 56件				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	1百万円	-					
	職員旅費	0.4百万円	-					
	委員等旅費	1百万円	-					
	庁費	0.5百万円	-					
	文化芸術振興費補助金	859百万円	-					
	計	862百万円	-	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない				

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
必要 性の 投入		広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	内閣府の世論調査では、文化芸術の体験・活動の重要性を肯定する者は88.4%のほり、その元となる文化芸術活動を行う芸術団体の水準向上は、広く国民のニーズがあると言え、第三次基本方針においても、重点的に取り組むべき施策としてあげられている。芸術性の高い公演を海外で実施するためには、渡航費をはじめ舞台費や文芸費等の多額の費用を要することから公的支援が必要である。		
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
		明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業 の 効率 性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先(補助事業者)の選定にあたっては、外部の有識者からなる協力者会議において選定しており、妥当である。また、補助対象経費については、例えば海外公演への補助であれば、旅費、舞台費の一部補助であり、受益者との負担関係及び費目は妥当である。また、募集案内のペーパーレス化を実施しているなど、コストの削減に努めている。		
		受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
		単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—			
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—				
事業 の有 効性		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	文化庁は我が国の芸術水準の向上を目的として事業を実施し、国際交流基金は、我が国に対する諸外国の理解を深め、国際相互理解を増進することを目的として事業を実施しており、役割分担は適切である。さらに、文化庁はトップレベルの団体の優れた海外公演に対し、創作活動への直接的な経費を含めて支援しているが、国際交流基金は相互理解のための文化交流活動に係る旅費等を支援しており、役割分担は明確になっている。		
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○			
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—			
重 複 排 除		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—			
		事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点 検 結 果	<p>事業仕分け結果を踏まえ、単価及び公演数の縮減を図るとともに、平成23年度より二国間交流の区分を廃止した。一方、東アジアとの交流を重点的に実施するため、東アジア交流に係る区分を新たに設け、我が国の芸術団体の芸術水準向上のため必要な事業に対して支援を行っている。なお、我が国の芸術団体の水準向上、海外発信力の強化を図っていくためには、本事業を実施する意義は非常に大きいことから、今後とも適切に事業を実施していく。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業 全体 改善 の 本 質 的	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、我が国の芸術団体が海外の優れた芸術団体と行う共同制作公演や国際フェスティバルへの参加等に対する支援を行う補助事業であり、他府省等(国際交流基金)との類似事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：本事業はこれまで積算の見直しを行うとともに、国内芸術団体の芸術水準の向上に資する公演等への支援に重点化してきたところであるが、国内国際フェスティバルへの参加等との連携強化を通じて事業効果を相乗的に高め、国際発信力を一層強化する観点から、メニューの整理や事業統合等を図るべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
廃 止	<p>本事業については、事業の見直しにより廃止し、概算要求に▲862百万円を反映した。なお、これまで支援を行ってこなかった現代美術やJ-POP等の新たな分野への支援を行うこととし、我が国の優れた芸術の積極的な海外発信と国内の各分野の国際フェスティバルなどの国際発信力の向上等を図るため、新たに「芸術文化の世界への発信と新たな展開」として1,791百万円を要望している。</p>					
備考						
文化庁の国際芸術交流支援事業のWEBサイトURL http://www.bunka.go.jp/geijutsu_bunka/07kokusaikoryu/shien_jigyo.html						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0490	平成23年	0413	平成24年	0436

※平成24年度実績を記入。



※ 表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)  
(単位：百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.株式会社エーシーオー沖縄			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
会場・舞台・運搬費	大道具人件費、照明人件費、音響人件費等	29			
謝金・旅費・宣伝等費	通訳謝金、翻訳料、国内交通費、印刷費等	24			
出演・音楽・文芸費	出演料、舞台監督料	20			
計	上記のうち、右記の金額を補助	50	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社エーシーオー沖縄	2012国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ	50	—	—
2	財団法人 児童育成協会	ダンストリエンナーレトーキョー2012	50	—	—
3	京都国際舞台芸術祭実行委員	KYOTO EXPERIMENT2012 京都国際舞台芸術祭2012	47	—	—
4	公益財団法人日本舞台芸術振興会	東京バレエ団 第25次海外公演	43	—	—
5	鳥の劇場運営委員会	鳥の演劇祭5	37	—	—
6	株式会社 ジョイナス エンターテインメント	日中国交正常化40周年記念事業 音楽劇「孫文と梅屋庄吉の絆」	32	—	—
7	公益財団法人 東京都歴史文化財団 東京芸術劇場	日本-イスラエル修好60周年記念 日本・イスラエル国際共同制作公演「トロイアの女たち」	31	—	—
8	キャメルアーツ株式会社	大駱駝艦・天賦典式 フランス・メキシコツアー	29	—	—
9	有限会社名取事務所	別役実 海外交流シリーズ「やってきたゴドー」/パリ・ベルリン公演	19	—	—
10	特定非営利活動法人 山海塾	山海塾欧州ツアー2012	18	—	—

※補助事業